

コロナ禍でも安心して自動車リサイクル工場を見学・体験

NGPバーチャル工場見学会の提供を開始

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合(佐藤幸雄理事長)は、教室に居ながら自動車リサイクル工場の見学が体験できる「NGPバーチャル工場見学会」を4月23日より開始しました。「NGPバーチャル工場見学会」とは、ZoomなどのWeb会議システムを利用して、自動車がリサイクルされる工程を、実際に工場にいるような臨場感で学ぶことができる仕組みのことです。

NGPは、国内・海外の学校教育現場を支援するベルマーク運動に2012年4月より「協賛会社」として参加するとともに、全国の学校に対するNGP自動車リサイクル工場見学会の誘致活動や、2006年から13年連続で環境展示会「エコプロ」へ出展するなど、子どもたちへ向けた教育支援活動に取り組んできました。2019年には、国際社会共通の目標であるSDGs(持続可能な開発目標)への取り組みを宣言し、これからの時代を担う子どもたちのための教育支援活動をさらに強化しています。

これまで工場見学会は、小学生が実際に工場を訪問する校外学習として活用されてきました。しかしコロナ禍を受けて校外での社会科見学を取り止める学校も多く、子どもたちの学習の機会が減少しています。

目で見て体験する工場見学は、子どもたちにとって貴重な学びの場です。実際に工場を見学することが難しい子どもたちにも、体験を交えた学びを提供したいという考えから、バーチャル工場見学会を開始しました。

■バーチャル工場見学会の内容

<ポイント1>

「NGPバーチャル工場見学会」では、自動車がリサイクルされる工程の動画を利用して授業を進め、ZoomなどのWeb会議システムを利用して子どもたちからの質問に工場の担当者が回答するなど、双方向のコミュニケーションにより理解を深めることが可能です。状況に応じて、講師も含め完全にWeb上で進めることもできますし、講師のみ教室に訪問し、直接授業を進めることも可能です。

<ポイント2>

動画は、レポーターが工場の担当者に質問し、実際の自動車リサイクルの工程に沿って解説されるため、本当に工場にいるような臨場感で学ぶことができます。また、随所にクイズを交えて子どもたちに考えて



バーチャル工場見学会 ロゴ

もらう時間を設けるなど、通常の工場見学で提供されている内容を「NGPバーチャル工場見学会」向けにアレンジしたコンテンツを提供します。

<ポイント3>

工場見学の際に事前に配布する「環境教育ノート」は、「NGPアップサイクルプロジェクト」で廃車になった自動車の取扱説明書を再生利用して製作したものです。これまで廃棄物となっていたものを再利用した「環境教育ノート」を使って工場見学を行うことで、自動車リサイクルの流れを学習するだけでなく、廃棄物の発生抑制や資源循環の大切さも学ぶことができます。

バーチャル工場見学会は、特設サイト(<https://www.ngp.gr.jp/factory/>)より申し込みを受け付けています。

バーチャル工場見学会については、近隣に工場がないなど、実際の工場見学が難しい学校の子どものために工場見学を疑似体験してもらうための仕組みとして、コロナ禍の収束後も活用していく予定です。

NGPは今後も、未来を担う子どもたちのためにできることを探求し続けるとともに、引き続き持続可能な循環型社会の実現に貢献してまいります。



エコプロ出展の様子



工場見学会の様子

損保料率機構、 「自動車保険の概況」2020年度版を発行

損害保険料率算出機構（損保料率機構）はこのほど、「自動車保険の概況」2020年度版（2019年度データ）を発行しました。同書は統計数値などを用いて、自賠責保険及び自動車保険の仕組みや一般的な補償内容、収支動向、自賠責保険の損害調査などを保険契約者や交通事故被害者などに知らせることを目的に毎年作成されるものです。同書の中から、自動車保険の収支などについて、過去のデータとの比較と併せて紹介します。

同書によると、2019年度の任意自動車保険の収入保険料（**グラフ1**）は3兆9,130億円で、前年度に比べ69億円（0.2%）増加、支払い保険金（**グラフ2**）は1兆9,884億円で同比262億円（1.3%）減少しています。

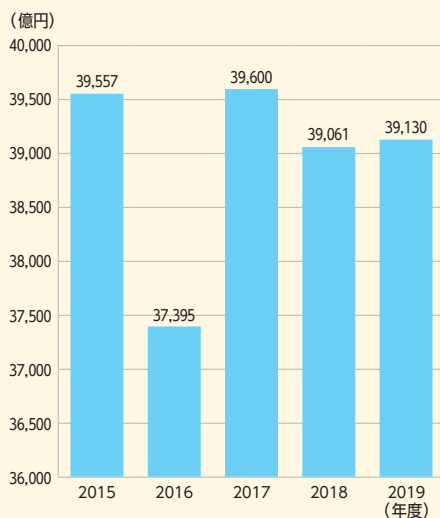
補償種目別に支払い保険金を見ると、車両保険が前年度より83億5,704万7千円（1.1%）増加し7,775億9,653万3千円、対物賠償は171億6,248万9千円（2.5%）減少し6,794億2,002万3千円でした。

車両保険の事故形態別統計（**表1**）では、「他車・物・人との衝突、接触、転覆、墜落」の支払い件数は170万561件と前年度から2万5,853件（1.5%）減少した一方、支払い保険金は5,819億553万9千円と同比140億2,414万9千円（2.5%）増加しています。

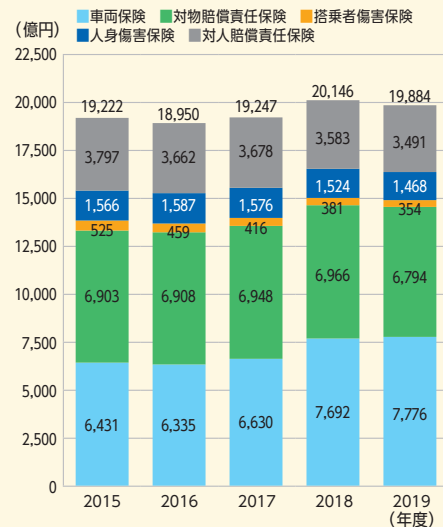
また、支払い1件当たりの修理費（**グラフ3、4**）では、車両保険は前年度310,609円から2,801円増加し313,410円、対物賠償（※間接損害含む）も同比10,055円増の327,188円とともに増加しました。その内訳を見ると、車両保険で部品費が前年度比2,142円増の164,600円、工賃が同比63円減の66,688円、塗装費が同比2,379円減の56,276円、対物賠償責任保険で部品費が同比4,733円増の140,144円、工賃が同比778円増の60,661円、塗装費が同比28円増の51,832円でした。

このことから、先進安全装置の普及などによる部品価格の上昇が、車両保険の支払い保険金の増加につながっていると考えられます。

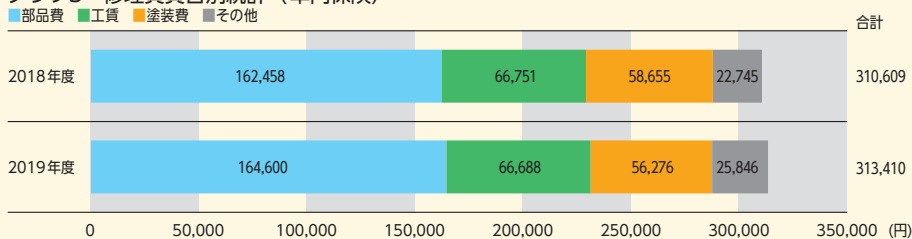
グラフ1 任意自動車保険・収入保険料の推移



グラフ2 任意自動車保険・支払い保険金の推移



グラフ3 修理費費目別統計（車両保険）



グラフ4 修理費費目別統計（対物賠償責任保険）

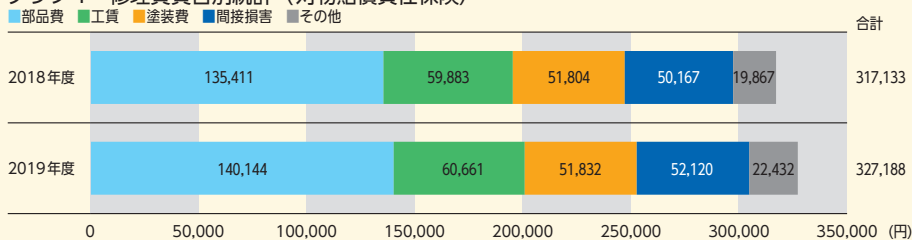


表1 任意自動車保険 車両保険 事故形態別統計

事故形態		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
他車・物・人との衝突、接触、転覆、墜落	支払い件数(件)	1,769,884	1,724,763	1,725,152	1,726,414	1,700,561
	(対前年度比)	-84,065	-45,121	389	1,262	-25,853
	支払い保険金(千円)	533,155,719	537,417,775	553,117,991	567,881,390	581,905,539
	(対前年度比)	-9,580,139	4,262,056	15,700,216	14,763,399	14,024,149
台風・竜巻・洪水・高潮	支払い件数(件)	25,020	10,403	13,769	100,760	69,415
	(対前年度比)	10,931	-14,617	3,366	86,991	-31,345
	支払い保険金(千円)	14,459,604	7,661,492	8,884,173	69,128,842	67,145,732
	(対前年度比)	6,067,629	-6,798,112	1,222,681	60,244,669	-1,983,110
盗難	支払い件数(件)	11,266	9,917	10,047	7,490	5,921
	(対前年度比)	-3,006	-1,349	130	-2,557	-1,569
	支払い保険金(千円)	11,200,702	10,988,397	11,188,405	10,510,434	11,511,349
	(対前年度比)	-1,315,264	-212,305	200,008	-677,971	1,000,915
その他	支払い件数(件)	402,625	381,594	407,398	437,153	418,286
	(対前年度比)	-79,591	-21,031	25,804	29,755	-18,867
	支払い保険金(千円)	75,239,654	69,172,316	80,950,432	108,860,995	105,174,408
	(対前年度比)	-23,362,161	-6,067,338	11,778,116	27,910,563	-3,686,587

※販売用・修理工場等受託車、特殊な用途・使用方法の保険契約および特殊な契約条件による保険契約を除く
※「その他」には、火災・爆発、飛来物・落下物との衝突等が含まれる

NGP組合員 かわら版

環境負荷軽減へ向けた取り組みが評価される

共伸商会、第1回新潟SDGsアワードで「奨励賞」を受賞

NGP組合員の(株)共伸商会（佐藤幸雄社長、新潟県新潟市）は、地域創生プラットフォーム「SDGsにいがた」準備会が開催する、第1回新潟SDGsアワードにおいて「奨励賞」を受賞しました。

「新潟SDGsアワード」とは、新潟県内の企業、団体、個人によるSDGs関連の取り組みを促進するため、その取り組みを審査し、内容に応じて表彰するものです。

共伸商会は「32万トン以上のCO₂削減と埋立処分をゼロにする活動」というタイトルで、自動車リサイクル部品の活用によるCO₂削減効果や、自動車から発生する素材を100%再資源化し、埋め立て処理ゼロを達成したことなどを、SDGs目標の一つである「12. つくる責任 つかう責任」に紐づけて紹介する資料を作成し、同アワードへ応募しました。

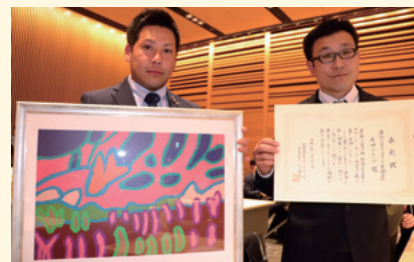
NGPは2019年にSDGs宣言を発表し、持続可能な社会を目指した活動を展開してきました。今期はNGPグループとしてだけでなく、組合員各社が各地域でSDGsを推進すべく取り組んでいます。

同社は昨年12月にSDGs宣言を行い、活動を開始し、社内勉強会の開催など各種取り組みを進めていくなかで、今回の応募に至りました。

本取り組みの責任者である佐藤陽輔常務は「SDGsの達成は、持続可能な社会を次の世代に残すために必要なことだと思い、宣言することを決意しました。持続可能な社会の実現に向けた取り組みを積極的に推進し、共伸の社名の通り、社会や地域の皆さまと共に発展していきたいと考えています」と、SDGs達成に向けた活動を継続していく姿勢を強調しました。



表彰式の様子



副賞の絵画を持つ共伸商会・佐藤陽輔常務（左）と、賞状を持つ同社企画推進部・安尻学氏

共伸商会の応募内容の概要

<活動の概要>

弊社は、NGP日本自動車リサイクル事業協同組合の組合員（会社）として、本業の自動車リサイクル事業を通して、子どもたちと地球の未来を考えるとともに、「共に伸びる」社名に込めた経営方針でSDGsに取り組みます。

①地球環境の保全に努め「地球に優しいグローバルカンパニーを目指す！」

使用済み自動車約27万台から、32万トン以上のCO₂削減に貢献します（2016～2030年の15年間）。

②「自社でバラ（リサイクル部品の生産）した車は、最後（シュレッダーダスト）まで責任をもってやる！」

シュレッダー設備を導入するとともに作業工程を改革し、自動車の資源リサイクル100%（埋立処理ゼロ）を達成します。

③地域貢献（佐渡からの廃車引取、被災地での支援活動など）

<取り組みの成果>

①への取り組み 2014年マレーシアに会社を設立、2015年からグローバル化を促進、国外販路拡大計画の実施。

取り組みの成果 2019年までの4年間で、国内外合わせた生産と輸出部門による成果として17,577tのCO₂削減。

②への取り組み 2016年シュレッダー設備を導入し、作業工程を大幅に変更した。

導入の成果

●県外のシュレッダー工場への輸送が不要となったため輸送時の排気ガス1,463.34tのCO₂削減。

●シュレッダーダスト・シートプレス・バンパープレス、3つのサーマルリサイクルを活用し、埋立処理ゼロの達成。

●細分化されるため高精度メタル（鉄）になる。また、非鉄類は手作業で選別することで、再資源化率の向上。

③への取り組み 2019年令和元年東日本台風（19号）の被災車両の引き上げ活動、離島（佐渡）からの廃車の引き取り。

取り組みの実績 2019年度107台の被災車両引き上げと佐渡への離島支援を継続。



応募に際し、これまでの取り組みや自動車リサイクル事業の概要を説明する資料を作成

NGP 今月のCO₂削減量



リユース部品利用に伴うCO₂削減量

令和3年4月：

2,332t



リターナブル梱包材利用に伴うCO₂削減量

令和3年4月：

0.8t

※自動車リサイクル部品産業共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷軽減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリユース部品の90品目（左右ある部品を含む）115品目を対象に算出した数値です。

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO₂排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

NGP組合員 かわら版

海岸清掃作業などを通して環境保全に貢献

NGP、香川県豊島にて 環境再生・保全活動を展開

NGP協同組合は4月23・24日、SDGs（持続可能な開発目標）の取り組みの一環として、NPO法人瀬戸内オリーブ基金と協力し、国内最大級の産業廃棄物不法投棄事件が発生した香川県豊島の環境保全・再生活動を行いました。

前回（2020年10月）に引き続き、感染防止の観点からマスク着用を徹底するとともに、豊島への移動には定期船ではなくチャーター船を利用するなど、可能な限り豊島住民との接触を控えるよう配慮しました。

第4回目となる今回は、不法投棄によって荒廃してしまった国立公園の原状回復活動、2月に植樹したオリーブの木を乾燥から守り、土壌を改良するための堆肥を撒く作業、海岸漂着ゴミの回収作業などを行いました。

国立公園を元の美しい姿に戻すことを目的とした荒廃地の整備作業では、本来の植生に回復させるために、笹の根や切

り株、雑草などを除去しました。

海の豊かさを守ることを目的とした海岸漂着ゴミ回収作業では、コロナ禍により活動を自粛している団体も多く、広い範囲でゴミが漂着していたため、これまで作業してきた場所に加えて新たに「柚の浜」も清掃しました。

初参加のメンバーは活動の目的を事前に学んだ上で参加し、現地で「豊島のこころ資料館」を見学するとともに、廃棄物対策豊島住民会議・安岐正三事務局長から豊島事件の歴史及び不法投棄現場の浄化作業状況について説明を受けたことで、自動車リサイクルに関わるものとして豊島のボランティア活動に携わる重要性を再認識することができました。

NGPは今後も瀬戸内オリーブ基金と協力して、「豊島事件」の悲劇を二度と繰り返さないために、環境保全・再生活動に取り組んでまいります。



海岸漂着ゴミ回収作業



国立公園の原状回復活動



豊島のこころ資料館の見学

締め切り迫る！

「逆境を追い風に！ NGP大感謝プレゼントキャンペーン」開催中！！

1等賞品は
サマージャンボくじ
1,000枚！

プレゼント内容

- 1等 「サマージャンボくじ1,000枚」または「Amazonギフト券 or JCBギフト券 30万円分」+「豊島オリーブオイル50ml（1本）」..... 1名様
- 2等 「サマージャンボくじ100枚」または「Amazonギフト券 or JCBギフト券 3万円分」+「豊島オリーブオイル50ml（1本）」..... 5名様
- 3等 「サマージャンボくじ10枚」または「Amazonギフト券 or JCBギフト券 3千円分 or 豊島オリーブオイルセット3千円分」..... 994名様

6月30日まで、宝くじなどの賞品が抽選で当たる「逆境を追い風に！ NGP大感謝プレゼントキャンペーン」を開催中です。

NGPリサイクル部に貼付されるギャランティシールを3枚集めてご応募いただいた方の中から、抽選で1,000名の方に宝くじなどの賞品をプレゼント致します。

応募用紙は各NGP組合員より皆様に配布するほか、当組合Webサイト（<https://www.ngp.gr.jp/campaign/>）からダウンロードすることも可能です。

お一人様何口でもご応募いただけます。皆様からのご応募を心よりお待ちしております。

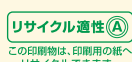


NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209
<https://www.ngp.gr.jp/>

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F
TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201
<https://www.ngp.co.jp/>



ZERO®
CO₂
PRINT



FSC® 森林認証紙、ノン VOC インキ（石油系溶剤 0%）など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンプリンティング認定工場にて、印刷事業において発生する CO₂ 全てをカーボンオフセット（相殺）した「CO₂ ゼロ印刷」で印刷しています。